

経済理論と日常生活のつながりを学び、知識を社会で活用できるようになる

現代経済学科では経済学の力を どう使うかを学べます

遠山) 江藤さんは学科でどのようなことを学んでいますか？

江藤) 現代経済学科では、数字から経済行動を読み取る、歴史や思想を理解する、財政や企業、行政など様々な経済活動を段階的に学んでいます。最初から1つに絞るのではなく、たくさんの方の学べる機会があります。

遠山) そうですね。現代経済学科では経済学の力をどう使うかを学べます。ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学を基礎から学び現状分析・実証分析できる力を身につけてもらい、専門的な能力をもって社会に貢献できる人材や社会の中で自分の役割を発見できる人材の輩出を目指しています。2年次から履修できるゼミナールではどのような活動をしていますか？

江藤) ゼミナールでは専門的なことについて仲間と一緒に知識を深めています。コンテストへの出場、発表、外部との交流など、学びながらアウトプットしお互い高め合う経験ができました。

日常生活が経済活動に影響を与えていく ことに面白さを感じました

遠山) 3年次から「経済政策」「企業産業」「金融」「経済理論」の4つのプログラムのうち、いずれかを選択して系統的な学修を行うようになっています。今はどんな内容に興味がありますか？

江藤) 私は「行動経済学」に興味を持っています。日常に潜むちょっとした工夫から経済活動に影響を与えていくことに面白さを感じました。学科で学んでいる経済学の歴史や基礎知識に加え、福祉や環境といった観点から伝統的な経済活動ではうまく説明できなかった社会現象や経済活動について実証的に捉える

新たな経済学について深く学んでいきたいと考えています。

遠藤) 経済問題に関心があるとは素晴らしいですね。理論をしっかり理解することは現実の理解に役立つのですが、現実をしっかり理解できていないと理論が真に意味することを理解できません。それゆえ、私のゼミナールでは、まずは現実の理解に努めてもらい、そのあとで自分が切り口として磨きたい理論を見極めてもらうようにしています。この経験を通して4年次の学びが変わってくると思います。授業をとりなおしてもよいし、専門書を熟読してもよいです。学びを通して、社会への関心をより高めていきましょう。

江藤) 学びから得たことを新たな分野に生かして、どうやったらどう変わるのか、どう影響が出るのかを考え、議論を深めながら学んでいきたいです。

自分の生きる指針となるよう学びを 深めていきたいです

遠山) 学科での学びをどんな風に自分の将来へ繋げたいですか？

江藤) 社会に出た後は、会社にも家庭にもどこにでも経済活動は存在するため、あらゆる場面で役立つと考えています。これから自分の興味のある分野についてゼミ活動などを通じて深く学び、どうしたらよりよくなるのか、自分自身が生きていく中で判断基準の指針となるように深めていけたらと思っています。

遠山) 社会の何がおかしいのかを経済学の力で考え抜き、そのおかしな点を変革できる人材に育ててほしいです。硬直した日本社会・経済を変革できるのは、正しい力を持った若者である、それが専大生であると信じています。

日常生活と経済活動の

つながりが分かると面白いですね

3年 江藤 由祈 さん
Yui Eto



実際の経済問題を理解すると、

経済理論をより深く理解できます

遠山 浩 教授
Ko Toyama

